

OPEN! NUMAZU

This issue is "CINEMA"

2023
vol. 03
TAKE FREE

シネマのある風景



商店街で映画を観るシネマ体験

映画館ではない場所で映画を上映することは、ただ映画を鑑賞するのではなく、スクリーンを立てたその場所の景色や雑音など、まちの気配を感じながら、その空間でしか味わえない情緒ある「シネマ体験」になる。また、限られた空間に集まり、誰かと肩を並べて映画を観ると、他人の感情もふいに感じられ、感動が何倍も心に響いてくる。いつもとは違う場所で、誰かと共有する映画時間は、まちにも人の心にも深く染み入る。



沼津市を中心に空き家や公共空間で映画の上映会を行うスキマcinemaのみさん

新仲見世商店街 × スキマcinema

新仲見世商店街は、2020年に老朽化したアーケードを撤去し、新たな空間再編をしました。公園のように、誰もが自由に集える商店街を思い描き、設置した椅子やテーブルで思い思いに過ごす人や、さまざまな他団体が商店街の通りを使いイベントを開催して下さっています。映画上映もそのひとつで、まだアーケード屋根があった頃に、商店街の新しい風景をつくる為にスキマcinemaさんが企画しました。主宰の大木さんは、当商店街でシェアオフィスを運営しています。その後、アーケード撤去工事下の骨組みの下での上映、さらに新しい歩道になってからも、新仲見世商店街の変化と共に、映画上映を続けています。映画上映をはじめ、色々な方が、商店街を使って下さることは大変ありがたいことです。



新仲見世商店街 井草雅彦さん



まちが、ひらいていく。



前回のOPEN NUMAZU weekend



OPEN NUMAZUは、まちなかの公共空間を活用することなどで生まれる風景を「日常」へとつなげ、ヒト中心のまちなかを創り出していくプロジェクトです。

商店街や店舗前に、誰でも自由に使えるイス・テーブルの設置や出店などを行い、歩きたくなる、過ごしたくなる空間づくりを実践しています。これからのまちなかの新たな景色を一緒につくっていきませんか？

最新情報はこちら
<https://lit.link/opennumazu>



アンケートにご協力ください

INFORMATION 毎月第3週の金・土・日(12月のみ第2週)に、仲見世商店街の旧マルサン書店前の滞留空間等を活用して、出店やイベントなど、公共空間活用のトライアルを行います。

9月のテーマは **シネマ**
9/15.fri ▶ 9/17.sun
15:30 ~ 19:30

CONTENTS

- [旧マルサン書店内] KAN KAN MARKET まちで使われなくなった家具などを記憶と共に「戻らせ(めぐらせ)」地域に「運る(まわる)」プロジェクト
ロケ地パネル展示(駿河湾沼津FC「ハリプロ映像協会」)
- 15.fri 15:30-19:30 [旧マルサン書店前] NUMAZU COFFEE LAB(ドリンク)、オビワンスカフェ(飲食)、つくしやブクマグ(雑貨) など
[仲見世パーク2前] Calle5411(飲食)、ローワーク講座(ワークショップ) など
[旧マルホシ前] ONE DROP(ドリンク) など
- 16.sat 15:30-19:30 [旧マルサン書店前] オビワンスカフェ(飲食)、chienowa(雑貨)、山仲books(古本)、カチンコ作り(ワークショップ) など
[旧マルホシ前] ONE DROP(ドリンク) など
- 17.sun 15:30-19:30 [旧まんなか前] NUMAZU COFFEE LAB(ドリンク) など

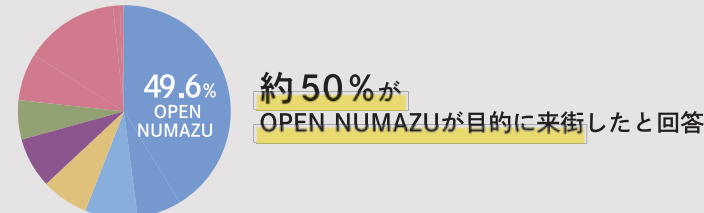
*詳細はInstagram、facebookをご確認ください *一部店舗は営業時間が異なります

スキマcinema 映画上映会 無料

17.sun 開場 17:00 上映 17:30 ~
会場、沼津仲見世商店街 旧まんなか
☆上映作品はSNSをご確認ください
*申込不要・お席は当日先着にて受付(満席の場合はご了承ください)
15.fri ~ 17.sun 各日 ①11:00 ~ ②15:00 ~
会場、沼津仲見世商店街 旧夢屋
『SHU ITO 監督作品』

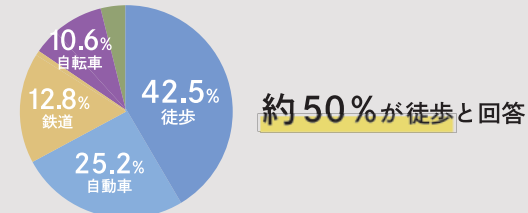
前回までのOPEN NUMAZUを検証!

まちなか(沼津仲見世商店街)を訪れた主な目的は?



約半数の49.6%が社会実験を目的に仲見世商店街を訪れており、社会実験が来街者誘引を促進したことがわかる。また、半数近い来街者が徒歩で訪れており、周辺に居住する市民に多く利用されたことがわかる。

まちなか(沼津仲見世商店街)を訪れた交通手段は?



*2022年度 OPEN NUMAZU アンケート調査結果

JOIN! OPEN NUMAZUの取り組みに興味がある方はお気軽にご連絡ください。沼津の未来を共に考える仲間を募集しています。
OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com

このタブロイドは、OPEN NUMAZUでつくる新たな風景とともに、地域のみなさんの取り組みを身近な自分ごとにも感じてもらうながら、場と心と未来を共にひらいていく地域密着のフリーペーパーです。

発行：OPEN NUMAZU 運営事務局 沼津市(都市計画部 まちづくり政策課) UR都市機構中部支社(都市再生業務部 まちづくり支援課)
Special thanks: スキマcinema・新仲見世商店街・アーケード名店街・Living Blue・オオカカダンテマルシェ
お問合せ：OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com

タブロイド 2023年 9月発行



CINEMA

狩野川の階段堤が座席に！大きなスクリーンでみんなで観る映画。



かのがわ風のテラス
Living Blue・渡会信介さん

映画館はまだハードルが高い小さい子どもを連れてでも楽しめるのが良いよね。

どんな場所も
スクリーンを立てた途端に
非日常への
ワクワクがはじまる

屋内はもちろん、屋外のどんな場所でもスクリーンを立てた途端に、映画への期待値が高まり、ワクワクがはじまる。いつも見慣れた日常の景色の中に、非日常の極みの映画の世界が出現すると、大人も子どももみんなが楽しめる空間になる。いつものまちが、映画の世界へ繋がっていると思うと、何だか急に毎日がドラマチックに感じてしまう。

CINEMA

誰かと一緒に観る映画は
一人で観るより
たくさんさんの感情を揺さぶる

映画が始まるまでの時間に、上映作品を話題にしたおしゃべりをし、見終わった後もその場所であれやこれやと感想を言い合えるのも、非劇場の良いところ。大きな声で笑っても、囁き泣く声も、人の感情全てが映画の要素になる。この場所で、このみなさんと、この作品を見てよかった。と、心から感動してしまう。映画って、いいな。



arcomichi
アーケード名店街・海野伸男さん

アーケード名店街の道路に芝を敷いて地域のみならずと観る映画。



スキマcinema
大木真実さん

CINEMA

いつもの公園で
老若男女、肩を並べて観る映画。



大岡田地 伝馬公園

オオオカダンテマルシェ・西島由紀子さん、林あずさん、平田知美さん、山崎友也さん

いつも遊んでる公園で映画が観れたら
子ども達の記憶に残っていつかこの事を思い出さるうな。

